美方高校新聞

高美

発行所
福井県立美方高等学校
新聞部
編集責任者
新聞部
印刷所
〈有〉鳥居印刷所

第五十一回卒業証書授与式
旅立ちの日 それぞれの夢に向かって

三月二日、第五十一回美方高校卒業式が挙行され、百五十名の卒業生が学び舎を巣立つ。今年も新型コロナ感染予防のため在校生はリモート参加となった。卒業する学年は、高校生活の二年間をコロナ禍で過ごし、研修旅行など貴重な行事が中止となってしまった。しかし、福井インターハイでの活躍や学校祭でのリーダーシップ、探究発表会第一期生としての素晴らしいプレゼンテーションなど、頼もしくかっこいい姿をたくさん見せてくれた。

卒業生の進路状況は国公立大学十三名、私立短期大学八名、専門学校四十二名、就職二十七名、公務員五名となっている（二月十八日現在）。また卒業式に先立ち三年間で輝かしい成果をあげた生徒が表彰された。

〈三か年皆勤〉　五十四名

〈スポーツ・文化・学術研究の部〉

ボート部　八名
馬野彩加・柴田佳歩・岩崎麟太朗・脇田蓮太郎・山口遥平・津志田匠太郎・清水空・浅野萌菜

〈財団法人全国産業教育振興中央会優良卒業生〉

食物科　若新翔太

〈県産業教育振興会優良卒業生〉

生活情報科　髙橋永遠

〈全国高等学校家庭科技術検定成績優秀者〉

生活情報科　浅野萌菜
食物科　百田和加・菊地京華

〈福井フューチャーマイスタートップ賞〉

生活情報科　鳥居楓月

〈全国商業高等学校協会成績優良者〉

生活情報科　山口彩矢奈

【受賞者インタビュー】

▽ボート部主将　山口遥平

「日本一という目標の下、仲間と切磋琢磨し競技に打ち込み、福井インターハイではその成果を発揮することができました。ここで学んだことを心に刻み夢に向かって「真向勝負」していきます。

▽若新翔太さん

料理人になることを目標に頑張ってきました。今後は専門学校に進学しより深く学び技術向上を目指します。

▽髙橋永遠さん

検定合格に向けて友人と共に頑張りました。大変でしたが大切な思い出です。「あなたでよかった」と言ってもらえるウエディングプランナーになることが私の夢です。多くの人を幸せにしたいです。

担任からのメッセージ

①一番の思い出
②ホームの生徒の良いところ
③どんな大人になってほしい
④励ましの言葉

一ホーム　吉岡弘和先生

①毎朝みんなの顔を見て元気になれるSTと春の遠足です。
②みんながとても優しく相手の優しさに気付くこともできる。思いやりに溢れていて互いの良いところを認め合える。
③誰が見ても素敵な行動だなと思われるかっこいい大人。
④今の自分ではなくこれからの自分を想像して、向上心を持って色々なことに挑戦して成長していってください。

二ホーム　岩本守聰先生

①美高祭も遠足も探究発表会も受験指導もすべてがいい思い出ですが、一番はLTのジェスチャークイズとだるまさんが転んだです。
②互いを思いやることができ、良い所を引き出し認め合える。
③他者の気持ちが分かり、自分を反省することができ、自分の可能性を信じて前に進んでいける人。
④「我以外皆我師」を胸に、自分の中に眠る可能性に挑戦し続けてください！オレも頑張ります！

三ホーム　西川航平先生

①美高祭は自宅待機で出られなかったが、復帰した朝のST、青のTシャツで待っていてくれて記念撮影をしたこと。
②仲間の為に動ける人が多く、メリハリが効き、騒ぐ時は思い切り騒ぎ、正す場面ではしっかりとしている。
③周囲を盛り上げ熱く引っ張ってくれる人
④仲間思いのところ、人の話は「目で聞く！」真剣さ、「どうするんやった～」の場に応じた判断力、熱いハートでこれからの人生を頑張って！

四ホーム　玉村拓史先生

①何よりも三年間担任をさせてもらえたことが嬉しかった。その中にあった楽しかったこと、盛り上がったこと、真剣に考えなければいけなかったこと一つ一つが良い思い出。
②いろんな検定を頑張って受けたところ。掃除が苦手なところ。クラスメイトの誕生日をお祝いするところ。でも担任の誕生日にはなにもないところ。行事をめいっぱい楽しむところ。早く動けと言ってもまったく動いてくれないところ。ささいなことで盛り上がれるところ。担任よりも小林先生の言うことをよく聞くところ。
③小さなことで幸せを感じられる人。
④健康に気をつけて。お菓子の食べ過ぎとお酒の飲みすぎ（お酒は二十歳になってから）に注意。それぞれの場所で第一印象が大事。挨拶をしっかりと。愚痴はほどほどに。気分転換を大事に。車の運転気をつけて。子どもとお年寄りには優しく。また美方高校に遊びに来てね。

五ホーム　出口秀樹先生

①LT企画は毎回盛り上がって楽しかった。盛り上がりすぎて他のホームに迷惑になっていないか心配していました。
②明るく団結できるところ。ホームスローガンZOOのとおり個性が溢れ、学校祭のステージ発表では全員で楽しいダンスを披露していました。
③それぞれの進路でスペシャリストになってもらいたいです。活躍の知らせを聞けることを楽しみにしています。
④卒業おめでとうございます。美方高校で学んだことを忘れず頑張って下さい。「同じ釜の飯を食う」という言葉があります。生活を共にしたり、苦楽を分かち合った親しい間柄のたとえとして使われます。五ホームは文字通り「同じ釜の飯」を食った仲間です。三年間で培った絆は本物だと思います。

ご退職される先生方の紹介

木本健校長先生は生徒に寄り添い生徒の立場で考えてくださる優しい先生です。村上覚先生は生徒に明るく接し心温まる指導をしてくださいます。今回取材はできませんでしたが事務職の本多典人さんは生徒と先生を支えてくれている縁の下の力持ちのような存在です。これまで美方高校をより良くするために全力を注いでいただきありがとうございました。

木本健　校長先生

①教員生活で一番印象に残っていること
②教員になったきっかけ
③大切にしてきたこと
④長く続ける秘訣
⑤一番楽しかったこと
⑥美高生の魅力
⑦退職することは悲しいか
⑧皆に一言
⑨これからの目標
⑩来年以降の予定

①水泳大会などの運営を行う水泳連盟の仕事をしているが、地元に帰ってきた多くの教え子たちがそこに参加し、仲間となり連盟の仕事を頑張ってくれていること。
②高校最後の水泳大会が終わった時、水泳の指導者になりたいと決意した。
③「どうせやるなら喜んで」やらなければならないことは嫌な顔せず。「継続は力なり」一つのことを続けると必ず力になると信じやってきた。
④常に何か新しい事にチャレンジしてきた。マンネリ化すると面白くなくなるから。
⑤去年、久々子湖で行われた福井インターハイで美方高校生が大活躍した場面。
⑥素直な生徒が多く何事にも一生懸命取り組むところ。
⑦寂しい面もあるが、どこかで一区切りつけることは大切。まずはここまで勤めてこられてホッとしている。
⑧高校卒業後、進学や就職で県外に出る人もいるが、生まれ育った地域に誇りを持ちこれからも頑張って欲しい。
⑨水泳の仕事や地域や社会のためにできることをこれからもやって行きたい。また、孫と楽しくキャンプに行きたい。

村上覚　先生

①担任していた時の合唱コンクール。クラスのまとまりがはっきり感じられた。
②小学生の時、教員だった親がプリントを作ったり採点したりする姿を見て興味が湧いた。中学生の時、姉が英語で話しかけてきてその意味を理解したいと思った。
③あいまいな受け答えをしないこと。生徒からの質問で不明な点は次までに調べて必ず伝えられるようにしてきた。
④授業の時などに生徒が「あ～」や「分かった！」と反応してくれることが嬉しい。
⑤三年前に副担任だったホームの生徒たちに混じって合唱コンクールの練習をしたこと。
⑥すごく素直で一生懸命努力できるところ、特に部活動。
⑦もうこれで英語を教えることが出来ないとなると寂しいので、何かの形でしばらくは働きたい。
⑧どうせやるなら楽しく取り組み、やらされているのじゃなくて自分から楽しんで頑張ってください。
⑨もっと英語を楽しむ・地域の役に立つ・料理を少しでも出来るようにする・健康維持をしていきたい。
⑩短時間勤務でどこかの高校で働いていると思う。

生徒からのメッセージ

▽木本健校長先生

美方高校をアットホームな雰囲気にしてくださりありがとうございました。校長先生最後の年に校内レガッタをできたのが嬉しかったです。制限がある中でもいろいなイベントが出来て良かったです。集会の時は力をもらえる言葉やためになる話がとても心に残っています。部活動にも足を運んでくださり本当にありがとうございました。

▽村上覚先生

初めて会った時は四十代だと思っていました。英語が苦手でしたが歌を歌ったり本文を一緒に読んだりしていくうちに楽しくなっていきました。二年生になり点数も大きく上がりました。先生の授業は面白くて大好きです。また学校に遊びに来てください。

探究発表

一年間の総まとめ 「私たちの未来」探究学習発表会

二月五日、二年生の探究学習発表会が行われた。当初は美浜町なびあすで中学生や来賓を招いての発表会を予定していたが、新型コロナ感染予防のため校内で行った。

【口頭発表①】『若狭町の廃棄される農作物で何か作ろう！』

特産物の梨と梅に着目し食品廃棄物減を目標に探究した。まずはハンドクリームと化粧水の製造を考案。地元農産物を使った化粧水を製造している他県の高校生の例を参考に、製造工程や製造販売許可の取り方などを調べた。企業と協力しても製品完成までには長い時間と多額の費用がかかることが分かった。次に菓子作りを企画。梨と梅の収穫時期は過ぎていたため十村の柿を用いたタルトとパウンドケーキを作った。「本校食物科や地元の店と連携するとより良いものができるはず」と可能性を見いだした。発表者の一ホーム田辺さん、八木さん、瀬尾さん、坂口さん、上下さんは「スライドや発表の仕方を工夫した。若狭町の農産物を知り有効利用の方法を考え行動につなぐことができた」と述べた。

【口頭発表②】『瓜割の水の魅力』

水温は常に十三度、健康に良い成分が豊富に含まれており、水のおいしさランキング二位。京都の八ツ橋やフランス料理に使われている。知名度アップのために道の駅や自動販売機、コラボ商品の展開、SNS発信などを提案した。

「スポーツ選手には有効か？」「癌が治るといわれているが本当か？」との質問にも一生懸命答えていた。三ホーム糀谷さん、竹村さんは「分かりやすい発表になるよう動画や写真を用いた。知らなかったことをたくさん知れて良かった」と話した。

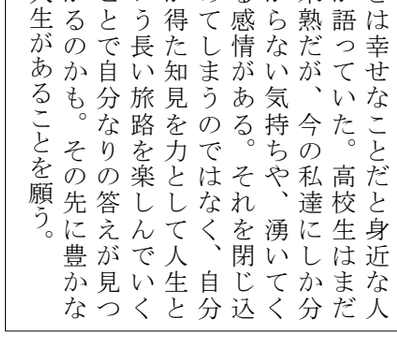
【ポスター発表】五十七組が各教室に分かれて発表した。『全ての人に愛される地元とは？』敦賀市の名所やお店を紹介するインスタグラムを作成しPRをした。

『プロテインについて』プロテインの種類と効果を研究。おすすめのプロテイン紹介も。『人間のモテ方』生徒アンケートで得たモテる人の印象をもとにアプリで実証実験。

松見先生は「未来を生き、これからの世界をつくっていくのは若者だ。皆が幸せになれるような世界をつくってくれることを期待をする」と講評した。

発表を聴いた一年生は今回の発表を参考に自身の探究を深めていってほしい。

カメラを前に魅力を語る二年生



ポスターを上手く使って発表

泉ン原

愛と恋の違いと言われると、説明できる人は少ないと思う。「恋とは自分本位なもの、愛とは相手本位なもの」（美輪明宏）という名言がある。本当の愛とは見返りを求めない無償の愛のことを指す。また結婚というのは共に支えあうという土台のもとに成り立っている。一方恋というのは、お酒に酔うように自分に酔うことだ。「恋する乙女」もそうなのだろう。ここで一番大事なのが、どんなに酔っても理性を保つことで、自分自身で居られる、つまり飾らない自分でいることだと思う。その自分を愛してもらえない恋愛の先にあるのは、暗闇だ。

人生において恋愛で迷うことは幸せなことだと身近な人が語っていた。高校生はまだ未熟だが、今の私達にしか分からない気持ちや、湧いてくる感情がある。それを閉じ込めてしまうのではなく、自分が得た知見を力として人生という長い旅路を楽しんでいくことで自分なりの答えが見つかるのかも。その先に豊かな人生があることを願う。